

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)	◎	百貨店（服飾品担当）	来客数の動き	・12月に入って来客数が10%以上増え、ボーナス商戦、クリスマス商戦共に順調な推移となった。来客数に比例して、売上も2けた以上の伸びとなったほか、クリスマスの曜日巡りも追い風となり、24日は12月で最高の売上となった。ラグジュアリー関連のバッグやジュエリーも引き続き好調で、年末のインバウンド需要も含め、円安の影響で高額品の購入が目立った。一方、暖冬の影響で重衣料は不調となったが、単価の上昇と来客数の増加で、全体的にギフト需要が伸びたほか、食料品も前年を上回る売上となっている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・人出が増えており、遅い時間まで人の動きが続いている。
	○	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店や喫茶、カフェなどの、1店舗当たりの販売量が微増となっている。
	○	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの5類感染症への移行後、初のイベントや、初の会合といった言葉が目立つとおり、ようやく以前の雰囲気に戻ってきたと感じる。夏以降は商談も増えている。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・商品の値上げ分も含めると、売上は15%増えている。
	○	一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・飲食関係は客が戻っており、景気の回復感がある。このまま物価の上昇が一定の水準で止まり、賃金の上昇が進めば、上昇気流に乗っていく。
	○	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・ここ数か月は進物関連の動きが良く、前年比で売上の増加が続いている。
	○	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・服飾雑貨など、これまで動きの鈍かったファッション商材の販売が活発になっている。
	○	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・年末商戦に入ってから、特に食料品の単価が上昇している。おせちの予約を含め、前年よりも大人数用の商材が好調である。コロナ禍が収束し、客もいよいよ通常のスケジュール感に戻ってきたと感じる。
	○	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・国内売上は、外商、その他の客共に、大きな変化はない。好調なインバウンドは12月中旬以降、更に売上が伸びている。一方、インバウンドによる消費のうち、化粧品は割合は20%弱であり、一般品や消耗品の割合にも変化はない。
	○	百貨店（外商担当）	販売量の動き	・今月も引き続き、インバウンド売上が過去最高を更新している。特に、円安を背景に、高額の海外ブランド品や高級時計、宝飾品を買う傾向が高い一方、国内客の売上は前年並みで推移している。
	○	百貨店（宣伝担当）	来客数の動き	・暖冬で防寒関連を中心とした季節商材が苦戦しているが、インバウンドの入店は増えている。円安の影響もあって購買意欲が非常に高く、単価の上昇と売上の増加につながっている。
	○	百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・紅葉シーズンで観光客が増えた後は、減少局面に入ると予想されたが、来客数、購入金額共に大きな落ち込みはなく、堅調な動きが続いている。一方、売上に占める訪日外国人の割合が高まっていることから、国内景気は予断を許さない状況にある。
	○	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・明らかに来客数の増加傾向が続いている。特に、近隣で人気の大通りについては、インバウンドの来訪が増えている。
	○	百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・年末に向けて人の流れが多くなり、来客数も増えているが、衣料品は気温の変動に左右されるため、やや不安定である。一方、化粧品関連は好調なほか、食品もスイーツのイベント販売などが好調であるが、物価の上昇で牛肉が不振であるほか、人流の回復で外食に需要が流れていることで、総菜関連も苦戦している。

○	百貨店（商品担当）	販売量の動き	・12月に入り、月初は販売量の動きが鈍かったが、中旬以降は、気温の低下と共に防寒衣料が動き出し、クリスマス商戦も比較的好調となっている。
○	スーパー（店長）	お客様の様子	・以前よりも、売上が全体的に回復している。
○	スーパー（企画）	来客数の動き	・月初めから売上は好調であり、クリスマス商戦も良い結果となった。年末もこの流れが続くことが期待される。
○	スーパー（企画）	来客数の動き	・食品の値上げに対する、節約の動きが報じられているが、大幅な買い控えはみられない。
○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今年はお歳暮の配達や、忘年会関連の動きが予想以上に増えている。
○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・通勤、通学者数がかつての水準に戻り、近隣のオフィスの入居率も上がってきたため、来客数がかつての水準を上回っている。
○	コンビニ（店員）	来客数の動き	・12月中旬から下旬は、公共料金の支払などで来客数が増え、レジ横商品の売行きも好調となっている。
○	コンビニ（店員）	来客数の動き	・コロナ禍が落ち着いてきた頃から、少しずつ観光客や近隣からの来客が増え、最近は常に店内が忙しい状態が続いている。商品もすぐに補充しなければ棚が空く状態であり、多くの外国人客も来店している。
○	衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・今年はお暖冬ながら、寒い日もやっとな増えてきたため、冬に向けた準備で、来客数、購入量共に少し増えている。
○	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・給湯器関連の補助金が新年度も利用できるため、給湯器の販売量が多い。
○	家電量販店（人事担当）	来客数の動き	・暖冬の影響もあり、暖房機器の売上は低調である。ボーナス商戦では、冷蔵庫や洗濯機、調理器具などが好調に売れている。
○	その他専門店 [宝石]（経営者）	お客様の様子	・最近は物価が安定し始めたため、客は以前と比べて精神的にも前向きになりつつある。
○	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	販売量の動き	・問合せよりも受注の電話が多く、Web経由の注文も多い。
○	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・12月は満席の日が多く、かつてに近い状態に戻っている。
○	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・年末の宴会シーズンに入り、2019年以前よりも来客数、売上共に増えているなど、確実にコロナ禍の影響はなくなっている。特に、20名から30名の宴会需要が増えている。また、繁華街は旅行者や買物客でかなりにぎわっており、今後の景気回復に期待できる。
○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は中旬から後半にかけて比較的暖かかったため、来客数が伸びた。近隣の商店街の人通りも多い。
○	一般レストラン（店主）	来客数の動き	・来客数の波はあるが、年末や冬休みのため、客は動いている。ただし、キャンペーンの有無の影響も大きく、今年はキャンペーンがないため、かなり暇な日もある。
○	その他飲食 [自動販売機（飲料）]（管理担当）	販売量の動き	・物価は上がっているが、販売量は好調である。
○	都市型ホテル（管理担当）	単価の動き	・3か月前と比較すると、稼働率は5%程度低下しているが、客室の平均単価はおよそ9000円上昇し、増収の動きは続いている。
○	都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・宿泊の好調は続いており、宴会利用の回復も進んでいるが、レストランのディナー帯の回復が進んでいない。
○	都市型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・12月に入っても、宿泊はインバウンドや各種イベントに伴う利用で好調を維持している。また、低迷していた宴会も、数年ぶりに企業が忘年会を開催するなど、大きなにぎわいをみせている。一方で人手不足が続くなか、タスクシェアなどで人員の確保に奔走する日々が続いている。

○	都市型ホテル (販売促進担 当)	来客数の動き	・12月はかつての傾向どおり、クリスマスディナー前後の来客数は多かった。今月のレストランは前年と比べて、月後半ににぎわう形となった。一方、客室部門の稼働率は76%と安定していたが、単価はそれほど高くなく、近隣のホテルも同じような状況となっている。
○	都市型ホテル (客室担当)	単価の動き	・前月に続き、当地域では全国旅行支援が1月も実施されるため、高単価での販売が続いている。全国旅行支援の利用件数は減っているが、販売価格の維持には貢献している。
○	旅行代理店(役 員)	来客数の動き	・旅行の行き先が、安・近・短から高・遠・長へとシフトチェンジする傾向が顕著となっている。3世代需要も多く、家族での旅行需要が拡大している。
○	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、もっと利用が増えると予想していたが、6月からの値上げでタクシーの利用率は伸び悩んでいる。利用はやや自粛ムードであり、特に遠距離の利用が少なくなっている。
○	その他レジャー 施設〔飲食・物 販系滞在型施 設〕(企画担 当)	来客数の動き	・冬になり、雪目当てのインバウンドが増加傾向にある。スキー場では値上げを行ったが、前年よりも利用者は増えており、売上の増加につながっている。
□	一般小売店〔時 計〕(経営者)	来客数の動き	・日によって来客数がゼロとなるなど、ばらつきはあったが、トータルでは3か月前と変わらず推移した。ここ数年の傾向ではあるが、大きなイベントがある月にしては来客数が少ない。特に今年は、年末に起きた不正問題や終わりのみえない戦争の影響で、世の中の活気がなくなっている。買物など、お金を使う気になれないのが実情である。
□	一般小売店〔衣 服〕(経営者)	販売量の動き	・販売量の動きに大きな変化はなく、良くも悪くも落ち着いている。
□	一般小売店〔呉 服〕(店員)	お客様の様子	・生活に必要な呉服であるが、少し動いているため、生活必需品の値上げの影響が少し和らいだと感じる。
□	百貨店(売場主 任)	お客様の様子	・今月は売上目標を達成できるかが微妙な状況である。月前半は気温が高かった影響もあり、冬物商材が苦戦している。客は自分の欲しい商品であれば、価格が少し高くても購入する傾向にあるが、欲しいと思わない商品は、価格が安くても見向きもしない傾向が強まっている。結果として、中間価格帯の商品が厳しい状況にある。
□	百貨店(サービ ス担当)	お客様の様子	・今月も傾向に変化はなく、前年を上回る実績が続いている。特に、インバウンドの動きが好調であり、海外の高級ブランド品や化粧品を中心に売上が増え、全体の売上拡大に貢献している。
□	百貨店(販促担 当)	販売量の動き	・街の人出は多く、来客数も前年を上回る推移となっている。ただし、クリスマス需要は堅調な一方、防寒ファッションは苦戦している。気温の乱高下が最大の要因で、今月に入って動きが鈍くなっている。物価の上昇も続いているが、食品の動きは堅調である。
□	百貨店(マネー ジャー)	お客様の様子	・全体的な傾向は変わらず、インバウンドの動きは好調で、富裕層も堅調な一方、中間層は節約が続くという傾向が続いている。国内の中間層では、化粧品だけが好調を維持している。クリスマス商戦での外食や菓子の販売は、メリハリ消費の影響で増えているが、その反面、生鮮3品などは買上点数が微減となっている。また、衣料品関連も購入に力強さはみられず、一進一退の状態である。
□	百貨店(店長)	単価の動き	・前年と比べて売上は少し伸びているが、値上げによる影響と考えられる。買う人は買う一方、買わない人は買わず、特に百貨店では買わない傾向が強まっている。

<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・暖冬の予想や、12月前半に気温が下がらなかった影響で、高額の冬物商材の動きが良くない。国内客は月後半に向けて気温が下がっても、1月のクリアランスセールを待つなど、消費に勢いはみられない。インバウンドについても、依然としてかなりの来店はみられるものの、紅葉の時期も終わったため、11月よりも伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業推進担当）	来客数の動き	・円安傾向の継続で、インバウンドによる高額品の購買は続いており、特に中国や台湾、韓国からの客の購入が多い。一方、国内消費は相次ぐ値上げで、中間層を中心にやや停滞気味である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・ここ数か月の来客数の前年比は、10月が2.1%減、11月が1.9%増、12月が12.4%増という推移であるが、売上は気温が高めとなった影響で、婦人服、紳士服などの重衣料が厳しい動きとなっている。また、コロナ禍の収束で、県外へ買物に出掛ける客も増えている。その一方、ラグジュアリーブランドや金製品などの外商売上は好調である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	単価の動き	・気温の影響もあり、衣料品の売上が前年割れで推移している。特に、アウターの動きが極端に悪い。一方、食品は値上げの影響もあって商品単価が上昇し、販売点数が前年並みでも、売上は3%増加している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	お客様の様子	・全体的に商品の値段が上がっている影響で、特売品や値引き品はすぐに売れている。一方、果物類は特に値上がりしているが、特売が余りないため、客の様子は厳しい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数は安定しており、大きな増減はない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・クリスマス商戦は曜日巡りの関係で、購入の前倒しやホームパーティー需要の増加がみられ、全体として堅調な動きとなった。年末商戦も天候面での不安はあったが、大きく崩れず、底堅い動きとなっている。足元は物価の上昇が続いているものの、ハレの日の消費は悪くない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（社員）	お客様の様子	・商品単価の上昇により、前年の後半から売上の増加が続いていたが、前月以降は増勢がやや鈍化している。ただし、客はハレの日の消費には意欲的であり、今年はお歳暮やクリスマスといった年末商材の動きが堅調である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画）	販売量の動き	・商品単価や来客数が前年を上回っており、売上は堅調である。ただし、景気を示す指標である、客当たりの買上点数は前年割れとなっている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・今年のクリスマスの販売も前年とほぼ同じであり、売上もほとんど変わっていない。人の動きとしては、寒い日が少ないため、比較的良好と感じている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	来客数の動き	・来客数はやや減っているが、単価が上がっているため、売上は少し伸びている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・月初は来客数が順調に推移していたが、中旬以降はやや芳しくない状況が続いている。客単価は前年並みのため、売上は前年並みで推移しているが、クリスマス商戦の動きは良くない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（営業・販売担当）	お客様の様子	・給与やボーナスが増えたといわれるが、増えた分は物価の上昇で相殺されており、収入の上昇はまだ十分ではないと感じる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・業界の不正問題が重なり、客は中古車の購入には慎重になっている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・値上げの影響で、売上は前年よりも増えたが、販売量は減っている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	お客様の様子	・来客数が伸び悩むなか、売上は前年比プラスとなり、年末商戦では住宅用の掃除用品の売上が特に伸びた。生活に必要な商品は買いだめする傾向もあり、お買い得なクーポンの活用が必須となっている。

<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	販売量の動き	・夏以降、ガソリンの出荷量は全国的に前年を下回っている。物価上昇の影響か、暖冬などの影響かは不明である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔宝飾品〕（販売担当）	販売量の動き	・変化がなく、停滞したままである。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔医薬品〕（管理担当）	販売量の動き	・年末商戦に入り、化粧品やカウンセリング化粧品の売上が増加している。また、感冒薬などの医薬品の売上も、増加傾向が続いている。日用雑貨や家庭用品の売上は減少したが、3か月前比で、客単価、1品単価共に増加となっている。
<input type="checkbox"/>	その他小売 〔ショッピングセンター〕（総括）	販売量の動き	・販売額の伸びが鈍化傾向にある。気温がやや高い影響に加えて、物価の上昇や所得の停滞による先行き不安で、客の買い方が慎重になっている。低価格の食料品などを買って満足感を満たし、衣料品など的高額商品の購入は抑える傾向にある。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン （企画）	販売量の動き	・売上の推移は2019年比で110%以上を維持するなど好調であるが、来客数がまだ戻っていない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・12月の忘年会などの客は増えてきたものの、まだかつての水準には程遠い。金曜日からの週末はほぼ客室が埋まる一方、平日は空室が目立つ。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル （管理担当）	お客様の様子	・客の状況に大きな変化はみられない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル （客室担当）	単価の動き	・コロナ禍の当時に比べて、ボーナスは増額したものの、物価の上昇による影響は拭えない。一方、海外からの客による利用単価は上昇している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・年末年始を迎えてボーナスが支給され、客の財布のひもも少し緩むと予想していたが、日用品や生活必需品の値上がりにより、旅行に予算を割く余裕のない客が増えている。円安傾向も少し落ち着いているが、海外旅行の割高感是否めず、全体的な景況感是不変。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	来客数の動き	・街の人出はみられるが、タクシーに乗る動きに変化はない。駅で客待ちをしても、時間帯によって波があり、閑散とした状態が続くこともある。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	販売量の動き	・競合相手に売り負けている状態である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	販売量の動き	・前年比で販売数が減少しており、キャリアからの手数料収入も減少傾向にあるなど、状況は相変わらず厳しい。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・契約件数は横ばいとなっている。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	来客数の動き	・今月に入り、来客数、客単価の上昇傾向に一服感がある。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 〔イベントホール〕（職員）	販売量の動き	・イベントの開催は順調であり、来客数も安定している。また、周辺のエリアも外国人観光客が多く、その数は以前と変わらないか、更に増えている。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 〔複合商業施設〕（職員）	販売量の動き	・暖冬の影響で、12月中旬まで冬物衣料が不調であった。食料品も相次ぐ値上げで買い控えが続くなど、消費マインドが冷え込みつつある。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 〔スポーツ施設〕（業務担当）	来客数の動き	・前月と余り大きな差はない。
<input type="checkbox"/>	美容室（店長）	来客数の動き	・今月は客単価が上がった一方、来客数は減少している。結果的に売上は維持できているが、先行きは余り期待できそうにない。
<input type="checkbox"/>	美容室（店員）	単価の動き	・12月は書き入れ時であり、年末のイベントも多く、単価が上がっている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社 （従業員）	単価の動き	・ターミナル駅の大型タワーマンションは、価格が想定よりも高額であるにもかかわらず、販売状況は好調であるため、周辺のタワーマンションも販売価格を上げている。

□	住宅販売会社 (総務担当)	来客数の動き	・物価上昇の影響があるのか、来客数が伸びているにもかかわらず、契約までに時間が掛かる。
□	その他住宅〔住宅設備〕(営業担当)	お客様の様子	・景気は良くなく、悪い状況が3か月前から続いている。機械の耐用年数を超えていても、資金難でリニューアルの検討すらできない客の話を、よく耳にするようになっている。
▲	百貨店(企画担当)	お客様の様子	・当社はターミナル駅に立地しており、売上に占める食料品の比率が高いが、12月に入ってやや下降線をたどっている。
▲	百貨店(管理担当)	お客様の様子	・本格的な冬の寒さが長続きせず、ファッション関連の動きが鈍いため、婦人物、紳士物共に、売上は前年を下回っている。
▲	百貨店(販売推進担当)	お客様の様子	・インバウンド需要は引き続き好調であるが、国内客の買上は、コロナ禍の影響が大きかった前年とほぼ同じ水準にとどまる。買上率が前年比で4%減と、物価の上昇による買い控えの動きがみられる。
▲	スーパー(企画担当)	販売量の動き	・値上げの影響もあり、年末商戦ではクリスマスケーキやおせちの予約が、前年よりも減少傾向となった。おもてなし関連や、際物商材の販売量も減っている。必要な物だけを購入し、衝動買いなどは控えるといった節約モードになっている。
▲	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・プレミアム付商品券が販売され、売上は前年比で10%ほど増加している。一方、3か月前から約10%の値上げを行っているため、正味の売上はやや減少している。
▲	家電量販店(店員)	来客数の動き	・来客数は以前と変わらず、前年の約80%で推移している。新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、消費者の関心は飲食や旅行にシフトしている。家電は必要最低限の商品しか目が向かない状況であり、今後は悪くなると予想される。
▲	家電量販店(企画担当)	来客数の動き	・年末年始商戦が盛り上がり欠けている。来客数が前年比で激減しており、それに暖冬が追い打ちを掛けている。
▲	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・コロナ禍の収束で日常の生活が戻ってきているが、自動車などの高額な商品の販売には、まだ動きがみられない。
▲	乗用車販売店(販売担当)	販売量の動き	・年末に向けて、駆け込みでの購入がもう少しあってもよいと感じた。仮に、かつての水準まで売上が伸びたとしても、物価の上昇により、購買意欲は低下している感が強い。
▲	旅行代理店(店長)	来客数の動き	・前月に続き、非常に来客数が少なく、海外旅行の販売も予想したほど戻っていない。
▲	通信会社(経営者)	単価の動き	・原材料価格や人件費の上昇で、利益が圧迫されている。
▲	テーマパーク(職員)	来客数の動き	・現状は景気回復の見込みが薄い。
▲	住宅販売会社(経営者)	来客数の動き	・実質的な増税の動きなどを肌で感じているようで、客の動きが変わってきている。
▲	住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・銀行融資の審査が厳しくなってきたと感じる。
▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕(経営者)	それ以外	・不動産の取引状況に、大きな変化はみられない。
▲	その他住宅〔展示場〕(従業員)	単価の動き	・資材価格の高騰による建築単価の上昇で、消費者マインドが低下し、景気は下向き傾向となっている。
×	スーパー(店長)	来客数の動き	・12月の衣料品売場では、来客数が前年比で88%、販売点数が87%となっている。11月に前倒して販売を行ったほか、前年よりも気温が高い影響が出ている。食料品の来客数は102%と健闘していることから、衣料品の買い控えが顕著となっている。

	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・販売促進の効果が著しく低く、ショーウィンドウを見る客はいるが、実際の購買につながらない。洋服に対する消費意欲がみられない。
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・今年は12月の割に来客数が少ない。前年と比べても少なく、当然ながら販売点数や売上も少ない。
	×	家電量販店(店員)	お客様の様子	・商品の値上げによる影響がみられる。ある一定の客層の購買状況に大きな変化はないが、明らかに買換えの方が長期的に有利でも、修理が優先されるケースが増えてきた。さらに、安いネット通販商品を購入した結果、アフターサービスが粗雑なのか、店頭で相談に来る客も増えている。やはり価格を最優先する状況が続く間は、景気の悪化が続く。
	×	住関連専門店 (店長)	お客様の様子	・住関連の商品は、翌年の新築に向けて商談を始める客が増える時期であるが、今年は動きが非常に少ない。消費者の財布のひもが固くなり、市場自体が冷え込んでいる。
	×	観光型旅館(経営者)	お客様の様子	・高級な宿の入込状況が少し鈍化している。
	×	通信会社(社員)	お客様の様子	・年末にかけて契約が取りにくい状況となっている。ボーナスの支給状況は改善しているものの、通信サービスなどの需要は余り高まっていない。
	×	競輪場(職員)	単価の動き	・3か月前の客単価は8441円であったが、今月は速報値で7762円と過去最低となった。大みそかまでの統計をとれば、少し回復するはずであるが、今まで8000円を下回ったことはない。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・Web媒体、紙媒体共に、売上が前年を上回っている。
	◎	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・10月以降は、交通広告の需要が増えている。特に、電子看板の引き合いが好調である。
	○	食料品製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・業務用商品の受注が増えるなど、外食関係は良くなっている。さらに、初詣や十日えびすなどの屋台も、来年は以前のようなにぎやかさに戻るため、年末の受注増加につながっている。
	○	出版・印刷・同関連産業(企画営業担当)	受注量や販売量の動き	・問合せの件数が、引き続き増加している。
	○	プラスチック製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・8月～9月にかけて在庫調整や発注控えがあり、受注はどん底の状態であったが、底を打った感がある。
	○	金属製品製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・自動車関連向けの出荷が増えている。
	○	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今年は、年末までに納品してほしいという依頼が多いほか、年明けの案件も受注できているなど、やや上向いている。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・月末に近づくと、取引先が在庫調整を行っている。
	□	化学工業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・2輪車や4輪車向けの電装品用の出荷量が、好調な状況を維持している。また、半導体関連や建設関連の出荷も、好調な状況が続いている。
	□	窯業・土石製品製造業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・若干の円高傾向にあるが、物価の上昇は続いている。コロナ禍の収束により、関連需要は8割以上回復しており、3か月前との比較で大きな変化はない。
	□	金属製品製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・インバウンド関連は結構にぎわっているが、鉄鋼業界はまだ回復途上である。自動車向けは半導体不足も解消されているが、土木建設向けは材料価格の上昇や資材不足、人手不足により、中小規模の新規工事が計画どおりに進んでいない。
	□	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・当社の取扱商品には、1億円から数百万円の価格差がある。半年前には6000万円規模の受注があったが、その後は低価格品しか出荷できていない。総じて大型案件が減っており、景気が良くなっているとは思えない。
	□	電気機械器具製造業(宣伝担当)	受注量や販売量の動き	・冷蔵庫や洗濯機、エアコン等の大型商品を始め、全体的に前年を下回る荷動きで推移している。

	□	その他製造業 〔履物〕（団体職員）	受注価格や販売価格の動き	・現状、円安傾向や資源相場の上昇が落ち着いており、コストに関して特に大きな動きはない。市場は年末年始の動きを見守っている状況である。
	□	建設業（経営者）	取引先の様子	・監理技術者や技能労務者不足が続くなか、一部の建設資材の納期も不明確であり、工期が厳しい状況になりつつある。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・キャンペーンで送料と商品の値引きを行ったため、前年以上の売上となっている。
	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先へのヒアリングを行うと、受注は増えていないとの回答が多い。
	□	金融業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・コストの上昇に対する、販売価格への転嫁が遅れているため、利益が上がらない。
	□	その他サービス業 〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・ターミナル駅の店舗の売上は、前年比で相変わらず110%超の推移となっている。一方、ターミナル駅以外の中間駅では、前年比で100%から105%の推移となっており、明らかにインバウンド消費による差がみられる。
	□	その他非製造業 〔機械器具卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年よりも商品が値上がりしており、同じ数量が売れば売上も増えるはずであるが、前年並みであるため、良くない。
	▲	繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・需要期が過ぎたため、受注が減少している。
	▲	繊維工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先からの受注は前年の20%程度で、当社の社員が僱事に出向き、消費者に販売している。非常に厳しい状況であるが、年明けの販売増加に期待している。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注が目標の50%と低調で、売上も70%にとどまるなど、いずれも水準は低い。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物価の上昇に収入が追い付いていない。
	▲	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年後半から輸送量が落ち込んでいる。取引先からの新規の依頼も少なく、景気は後退する方向にある。
	▲	金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・物価の上昇が止まらない。せめてガソリン税に係るトリガー条項の凍結を解除してほしい。ただし、ここ数か月の間に、水道や電気・ガスを節約する癖がついたことは良かった。しばらくは国民全体で出費の抑制に励むしかない。
	▲	不動産業（営業担当）	取引先の様子	・アパレル店舗の撤退が続くなど、貸店舗の需要減少や賃料の低下が進み、景気は悪くなっている。
	▲	その他非製造業 〔衣服卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・商業団地内で卸売業務を行っているが、運送会社によると、商業団地内のB to B関連の荷動きは、11月以降は全体的に減少している。個人向けの宅配業は堅調に動いており、その差がはっきりと出ている。一方、当社の取扱商品では、11月以降は量販店の店頭商品の動きが鈍っている。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月の受注状況は、予測よりも下振れしている。
	×	その他非製造業 〔電気業〕（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・物価上昇の動きがひどすぎる。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 （管理担当）	求人数の動き	・外国人旅行者、国内旅行者共に増加し、観光業界の動きが活発化している。一方、年末年始を迎えて観光業界は人手不足に陥っているのに伴い、求人数、求人単価が上向いている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で少し減少した。各業種共に、業況は回復傾向にあるものの、人材の確保に苦労している。
	○	学校〔大学〕 （就職担当）	それ以外	・当地域の2つの人気エリアで、12月24日の百貨店での客層を比べると、客の数のほか、富裕層やインバウンドの購買意欲等、より大きなエリアが全て優っていた。ブランド店でも長蛇の列ができています。

□	人材派遣会社 (役員)	求人数の動き	・求人数は堅調に推移しているが、景気が上向いているのではなく、人手不足が続いている影響と考えられる。
□	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数が減少気味となるなか、60代以上の求職者数が増えている。
□	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・求人募集時の時給が上昇している企業と、ほぼ現状維持の企業に分かれている。それに伴い、求職者の反応にも差が出ている。
□	新聞社 [求人広告] (管理担当)	それ以外	・やや円高傾向が進んでいるため、年末年始にかけてのインバウンドの動きは不透明であるが、まだ関西の観光地は多くの外国人でにぎわっている。今月はボーナス支給の影響もあり、国内客の動きも良く、消費関連の業界はおおむね好調のようだ。一方、関西に多い製造業の中小企業からは、景気の良い話よりも不況に関する声が多いなど、業界による好不調の差がみられる。
□	新聞社 [求人広告] (担当者)	それ以外	・関西企業の新聞広告の出稿状況は、ほぼ変わっていない。
□	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・自動車大手の休業もあり、今後の推移は不透明である。
□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・観光関連産業は、インバウンドの増加や外食需要の持ち直しなどで、回復傾向が続いている。ただし、コロナ禍で蓄積されていた繰越し需要が落ちてきたことで、求人数を絞る動きがみられる。求人の減少に伴い、11月は有効求人倍率が2か月連続で低下している。
□	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・事業所の手不足の状況や、若年層の雇用を求める傾向は以前から続いている。一方で、求職者に占める高齢者の割合は高まっており、雇用のミスマッチは更に拡大しそうである。
□	学校 [大学] (就職担当)	求人数の動き	・来春の卒業生を採用したい企業による訪問が年末まで続いたが、人手不足が主な背景であり、景気の改善による求人の増加ではない。
□	その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・有効求人数の季節調整値は、19か月連続で20万人を超えるなど堅調であるが、前月比では3か月連続減少と、直近は減少が続いている。新規求人数の原数値も、前年比で3か月連続の減少と、一部の産業を中心に求人数の減少が続いている。雇用情勢の判断としては、持ち直しの動きに弱さがみられる。求人の減少は、原材料価格や光熱費、人件費等の高騰に加え、受注の減少や為替要因、中国経済の減速といった海外要因などによるものとみられる。
▲	民間職業紹介機関 (営業担当)	求職者数の動き	・厳密にはまだ求職者ではないが、25年卒の採用に向けた学生の動きが、例年以上に鈍い。夏のインターンシップに参加したことで安心しているのか、その後の企業探しを怠る学生が増えている。今月に実施された企業研究イベントや、学内の業界研究セミナーへの参加者は軒並み少ない。当社のイベントをみても、前年比で1～2割少なくなっている。
▲	学校 [大学] (就職担当)	周辺企業の様子	・効果の薄い減税策や現金の給付が計画される一方、一般市民の生活は悪化の一途をたどっている。
×	—	—	—